「新しいあたりまえ」を創造し続ける FORVAL

2018/3期　決算説明会

株式会社フォーバル

（コード番号　8275）

2018.5.28

2018/3期連結決算概要

ハイライト

営業利益・経常利益は10期連続増益
（赤字幅縮小を含めると11期連続で利益改善）

親会社株主に帰属する当期純利益は7期連続増益

親会社株主に帰属する当期純利益は
4期連続で過去最高益を更新

実質6期連続増配

連結決算概要（売上高）

	2018/3			2017/3	2018/3
	実績	前期比	期初予想比	実績	期初予想
売　上　高	51,351	1,088 【2.2%】	△648 【△1.2%】	50,262	52,000

単位：百万円

総合環境コンサルティングビジネスグループ以外のセグメントは増収

総合環境コンサルティングビジネスグループは、
再生可能エネルギー特別措置法（FIT法）改正の影響を受け減収

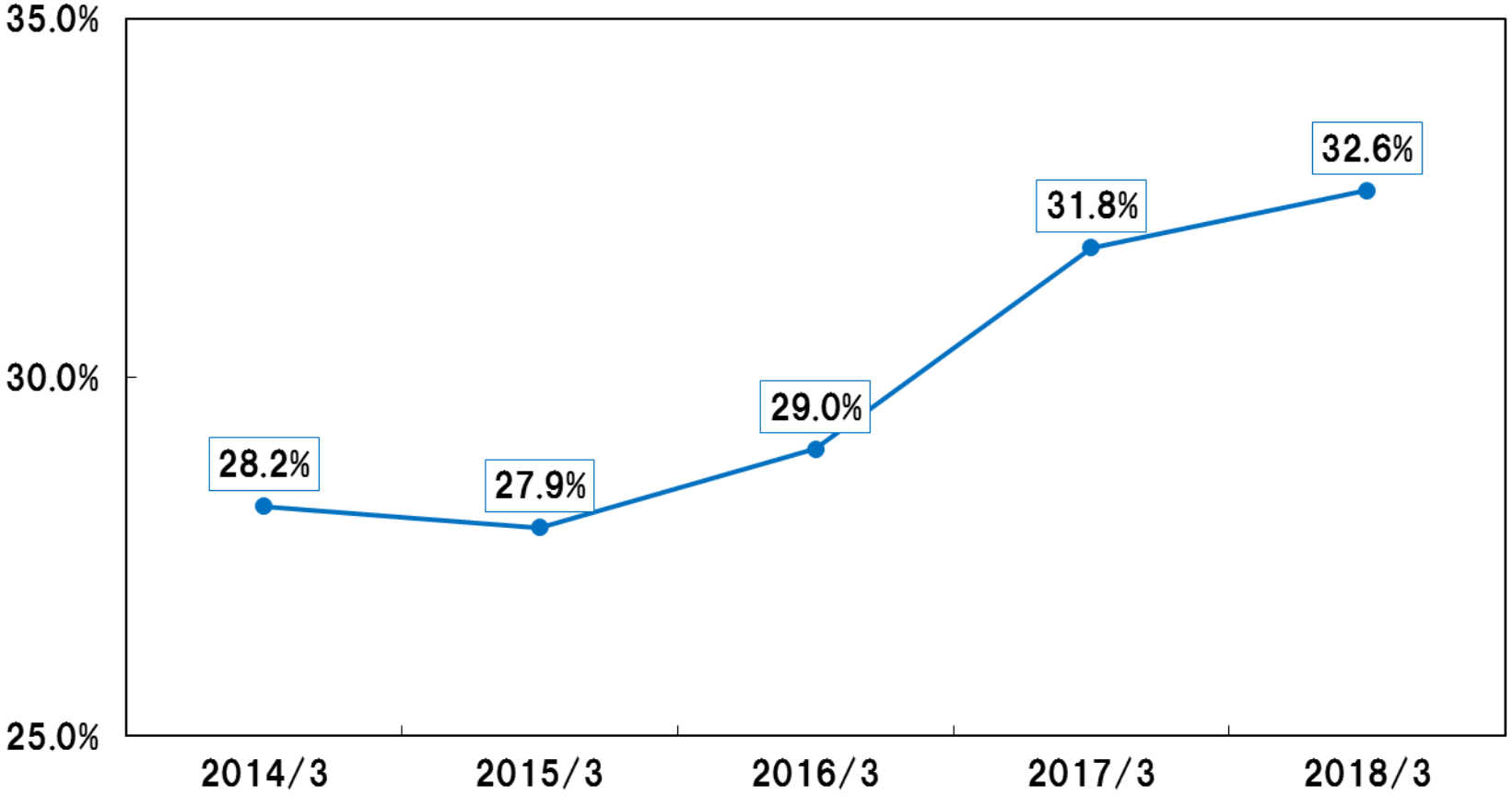
連結決算概要（売上総利益・販管費・営業利益）

	2018/3				2017/3		2018/3	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
売上総利益	16,764	32.6%	777 【4.9%】		15,987	31.8%		
販管費	13,910	27.1%	468 【3.5%】		13,441	26.7%		
営業利益	2,854	5.6%	308 【12.1%】	54 【1.9%】	2,545	5.1%	2,800	5.4%

単位：百万円

連結決算概要（売上総利益率の推移）

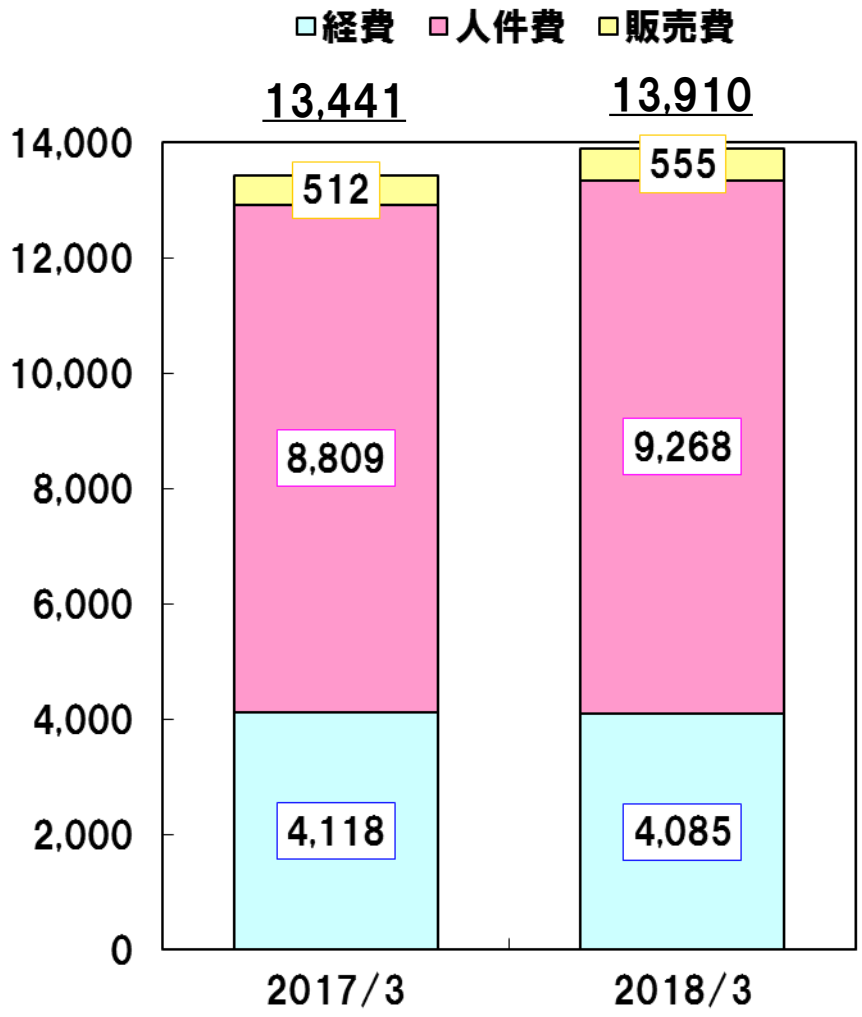
前期比0.8ポイント上昇



アイコン事業の拡大

連結決算概要（販売費及び一般管理費）

前期比3.5％増



販売費

前期比　42【8.3%】

販売促進費等の増加

人件費

前期比　459【5.2%】

既存社員に対する配分の増加

社員の増加

【前期末1,712名+96名(臨時を含む)】

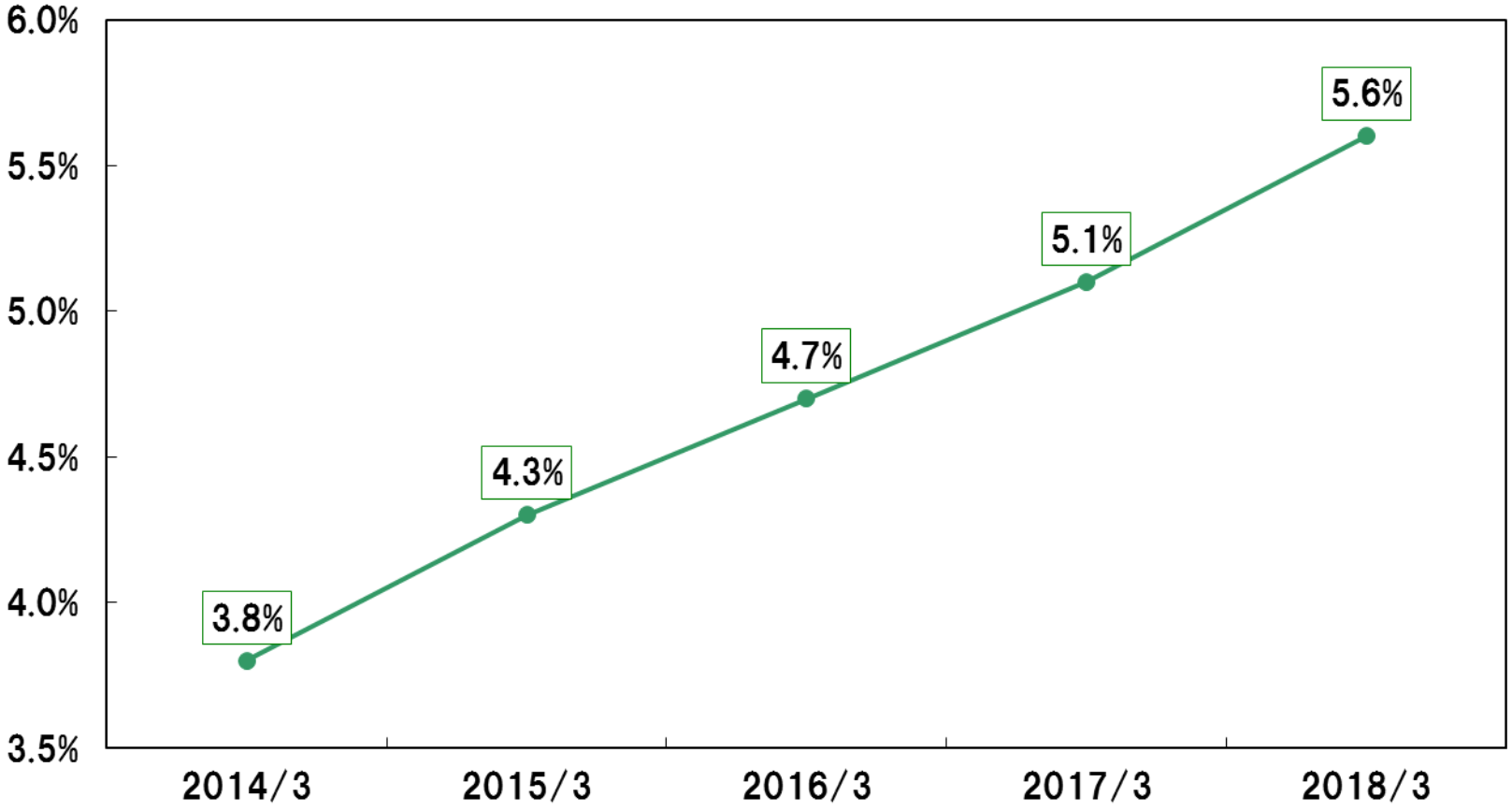
経費

前期比　△32【△0.8%】

単位:百万円

連結決算概要（営業利益率の推移）

前期比0.5ポイント上昇



連結決算概要（営業外収益・営業外費用・経常利益）

	2018/3				2017/3		2018/3	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
営業外収益	260		46 【21.8%】		213			

営業支援金収入が前期比46百万円増加

営業外費用	153		10 【7.0%】		143			
経常利益	2,960	5.8%	345 【13.2%】	160 【5.7%】	2,615	5.2%	2,800	5.4%

単位：百万円

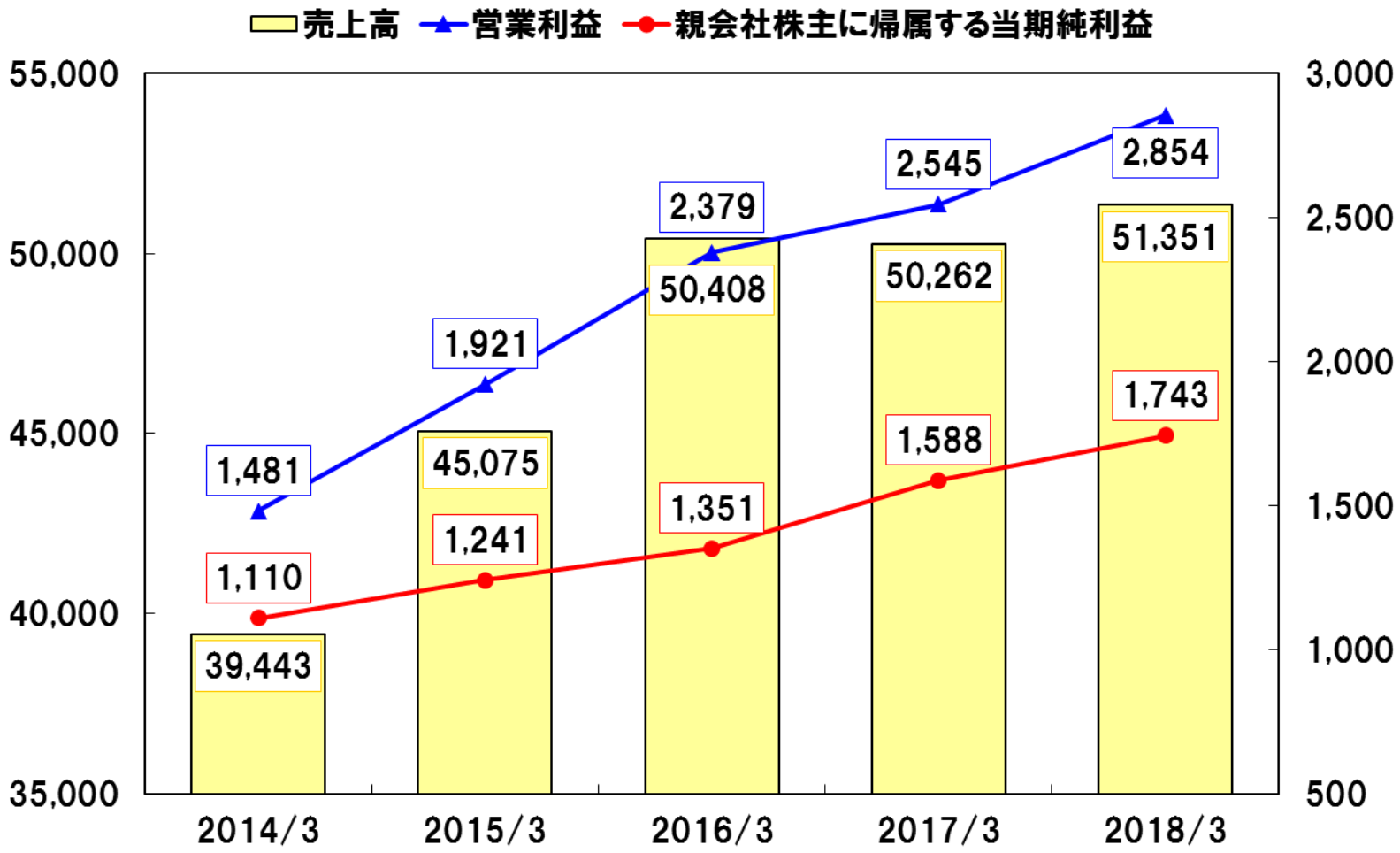
連結決算概要（特別利益・特別損失・親会社株主に帰属する当期純利益）

	2018/3				2017/3		2018/3	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
特別利益	4		△1 【△21.0%】		5			
特別損失	5		△4 【△45.4%】		10			
親会社株主に帰属する当期純利益	1,743	3.4%	155 【9.8%】	43 【2.6%】	1,588	3.2%	1,700	3.3%

単位：百万円

親会社株主に帰属する当期純利益は4期連続で過去最高益を更新

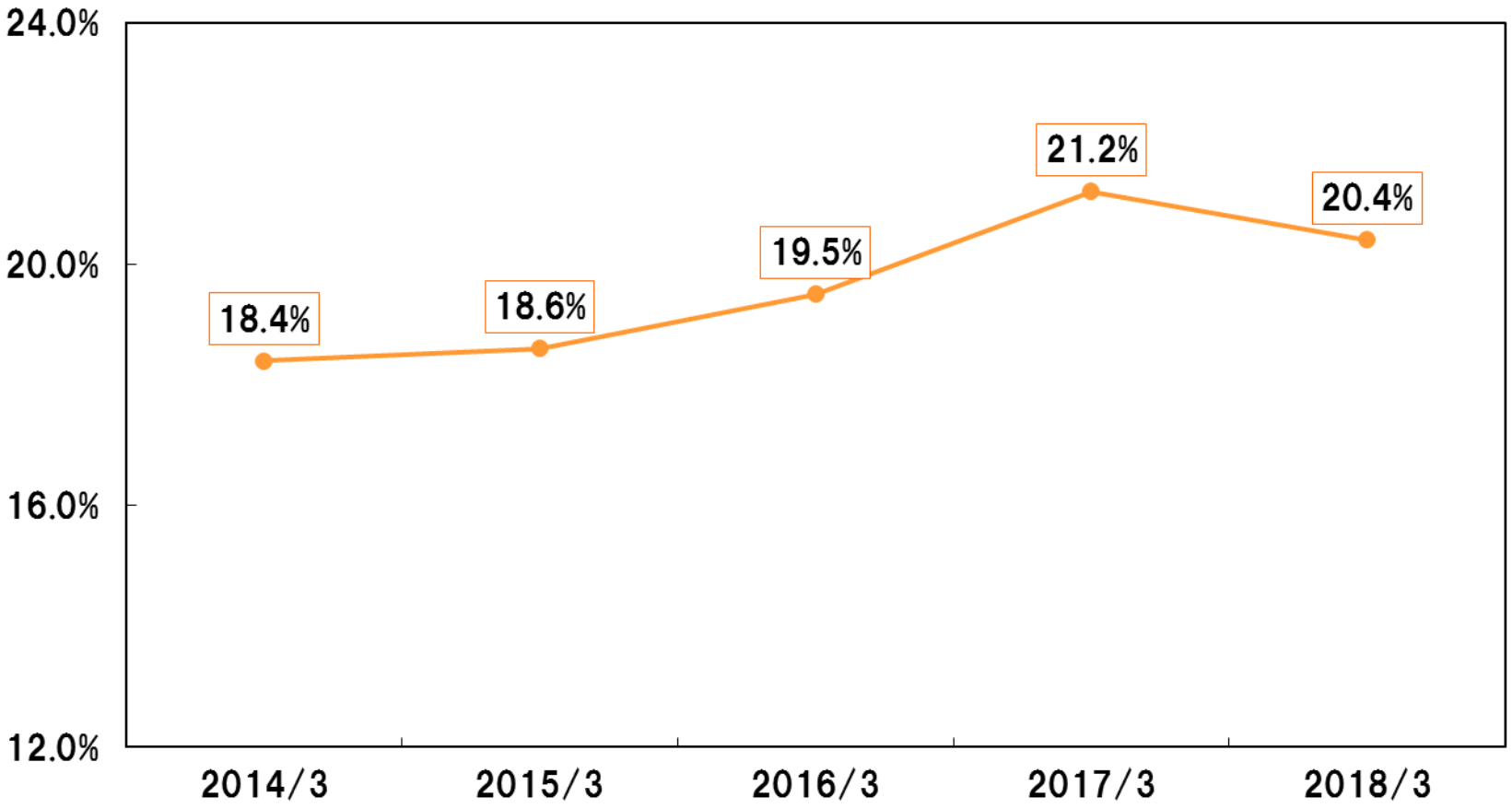
付加価値ストック型の増益構造に転換



単位：百万円

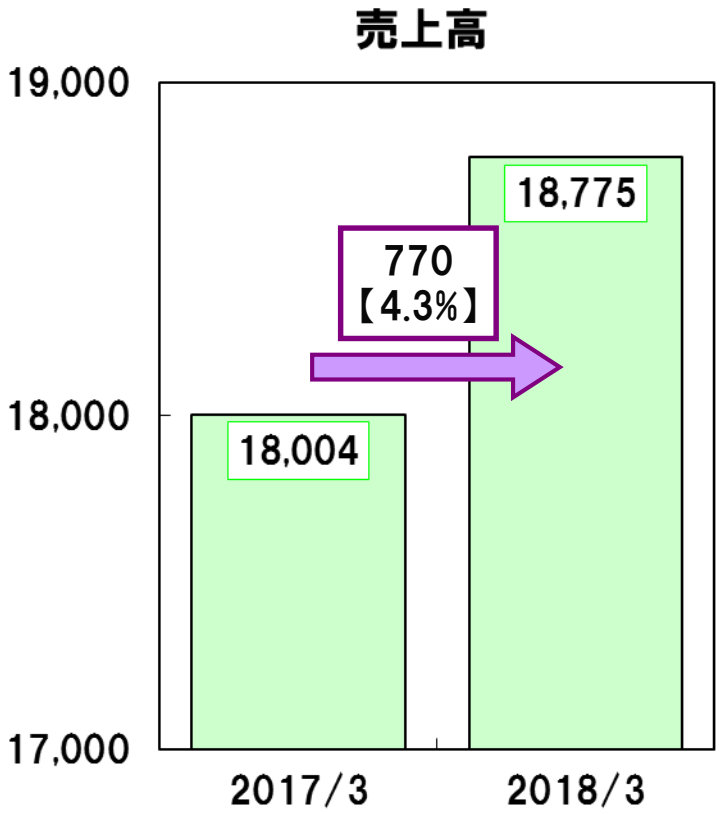
連結決算概要（ROEの推移）

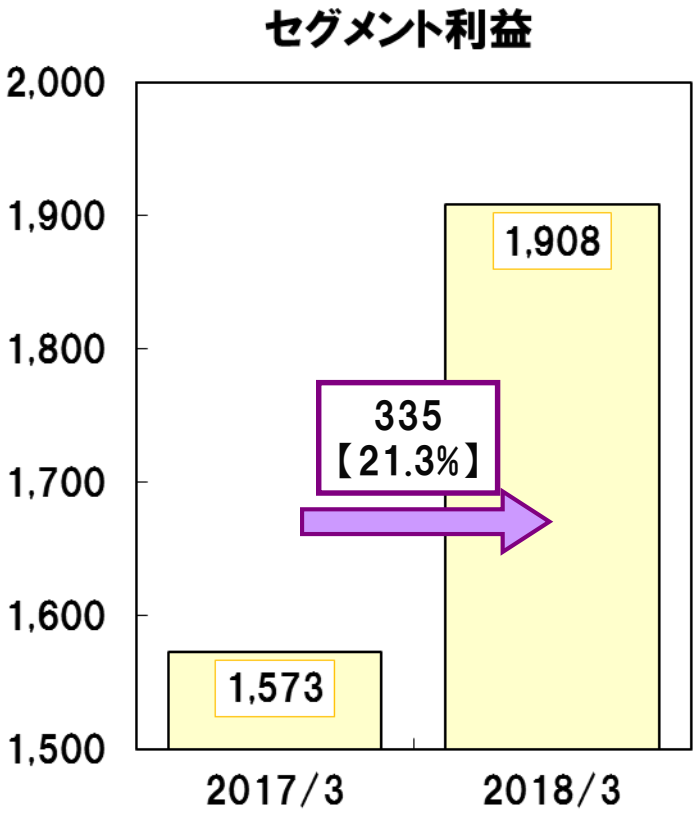
前期比0.8ポイント低下



セグメント別概況①

フォーバルビジネスグループ



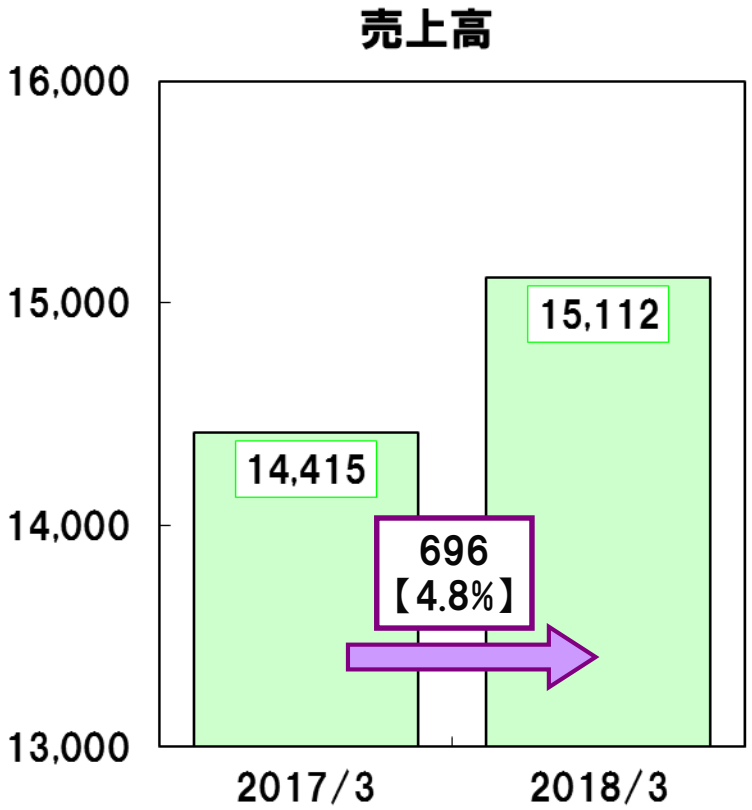


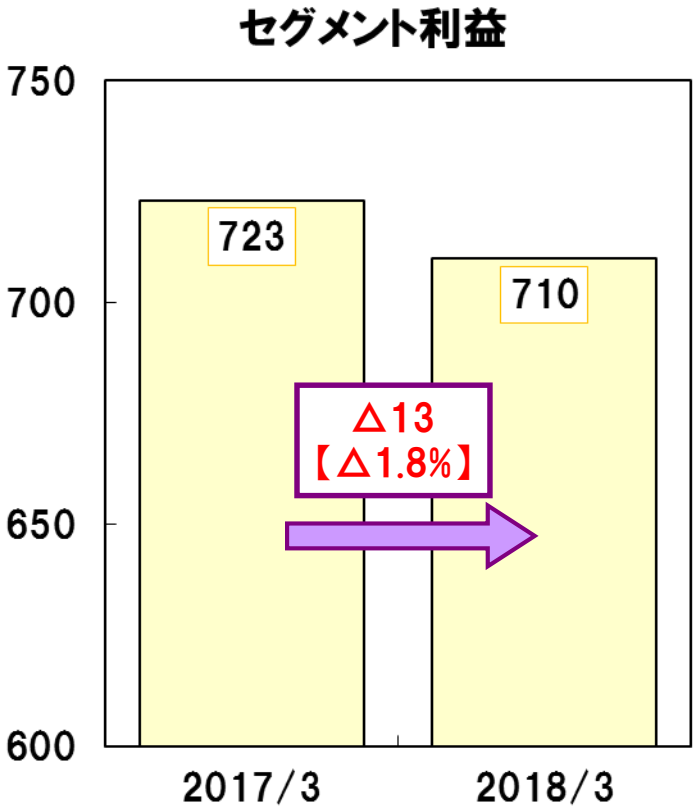
単位：百万円

アイコンサービスが順調に拡大／ネットワーク関連が好調に推移

セグメント別概況②

フォーバルテレコムビジネスグループ



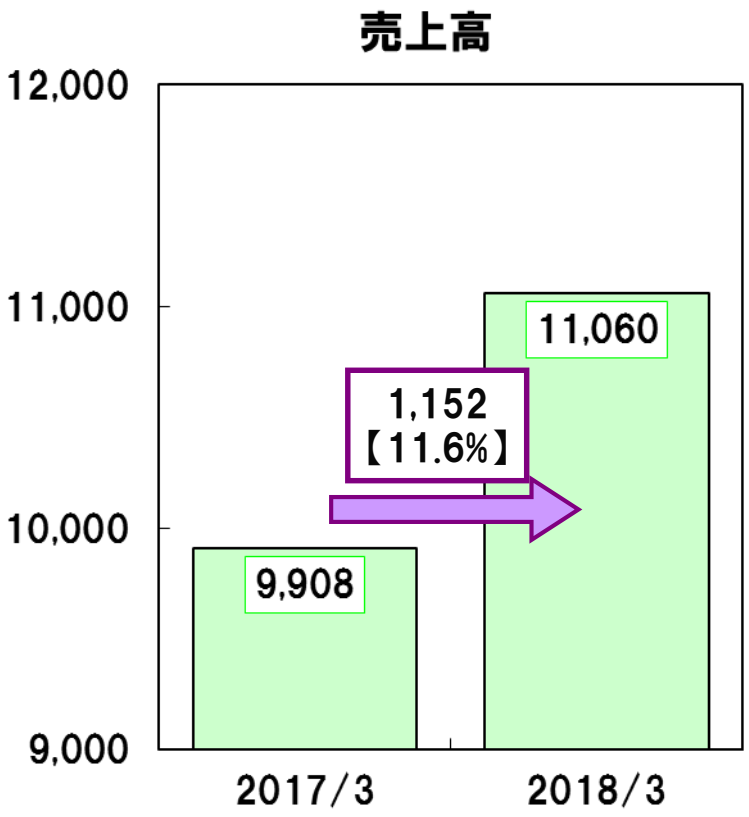


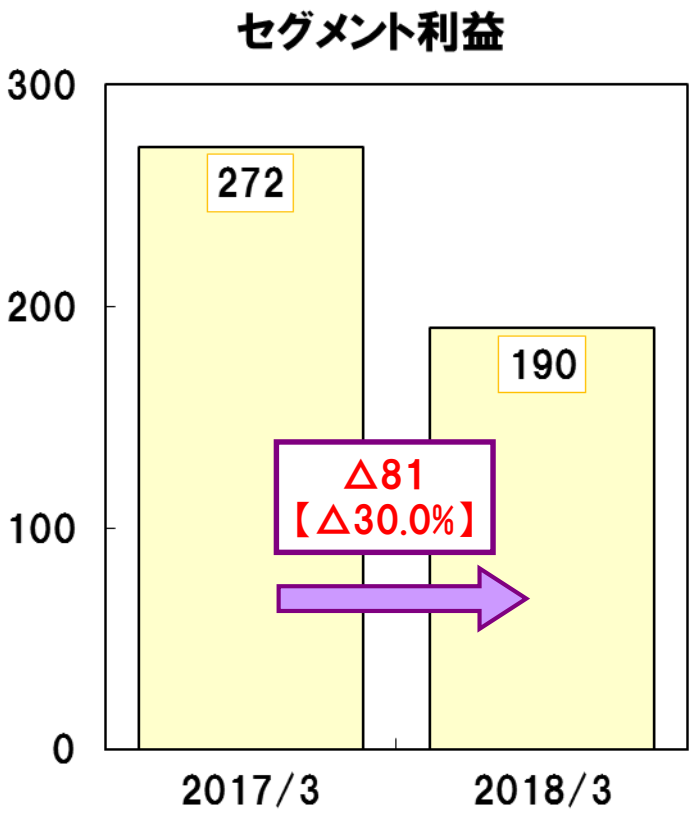
単位：百万円

光回線サービス・ISPが順調に拡大／印刷関連が減少

セグメント別概況③

モバイルショップビジネスグループ



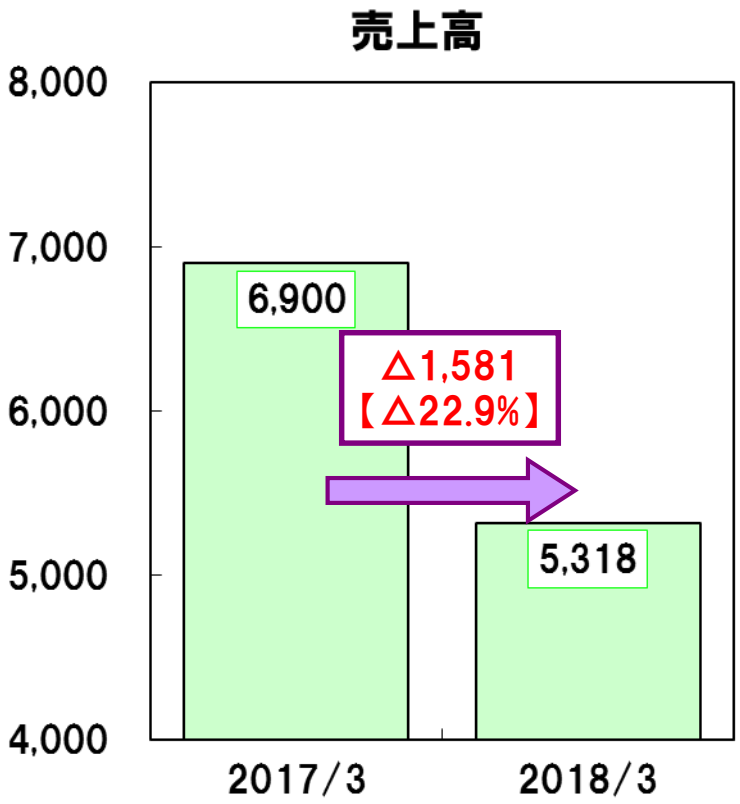


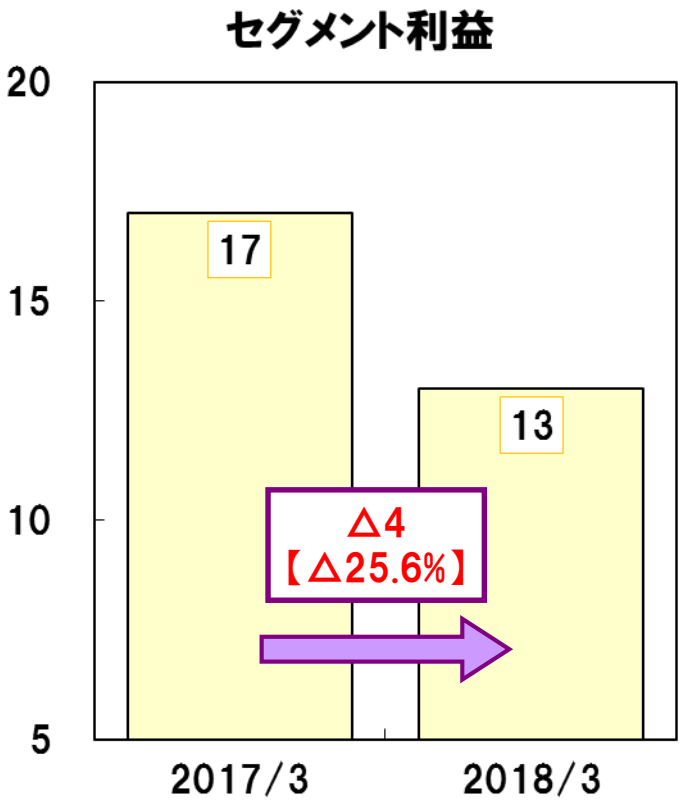
単位：百万円

携帯販売台数は前期比8.0％増／キャリアからの支援金の制度変更・人員増強で減益

セグメント別概況④

総合環境コンサルティングビジネスグループ

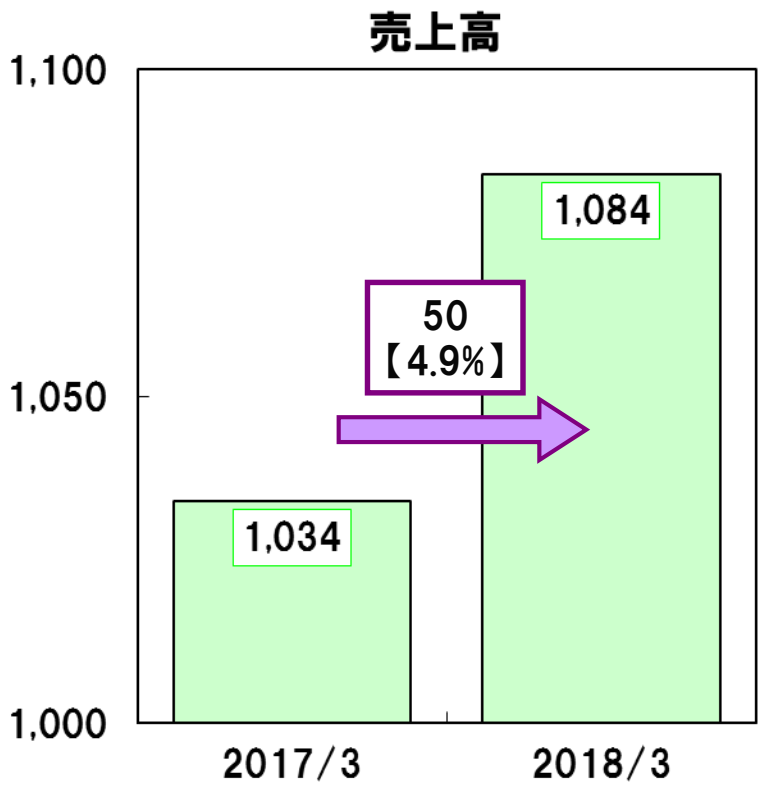


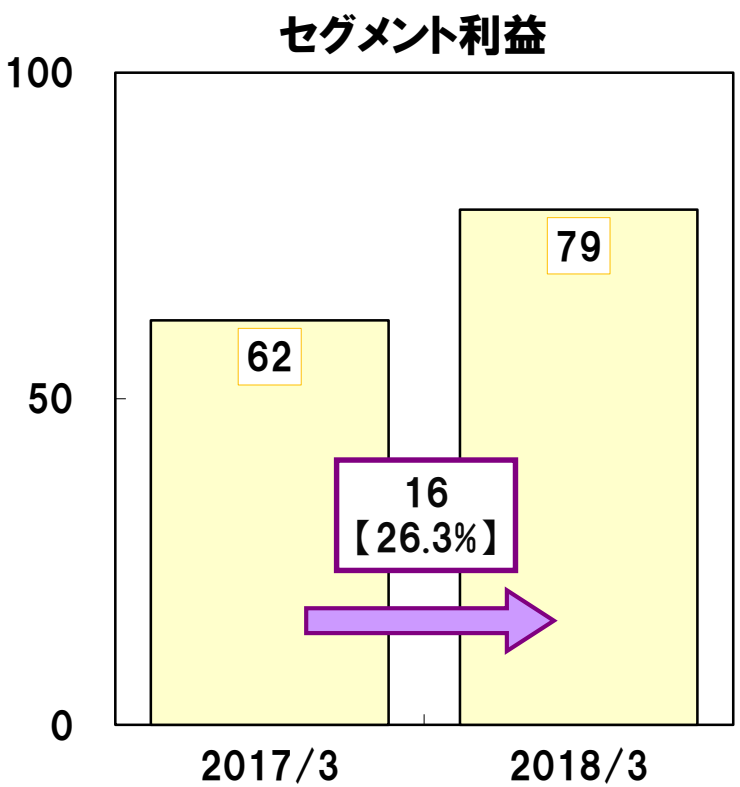


単位：百万円

再生可能エネルギー特別措置法（FIT法）改正の影響で太陽光システムの販売が減少

その他事業グループ （人材・教育コンサルティング）



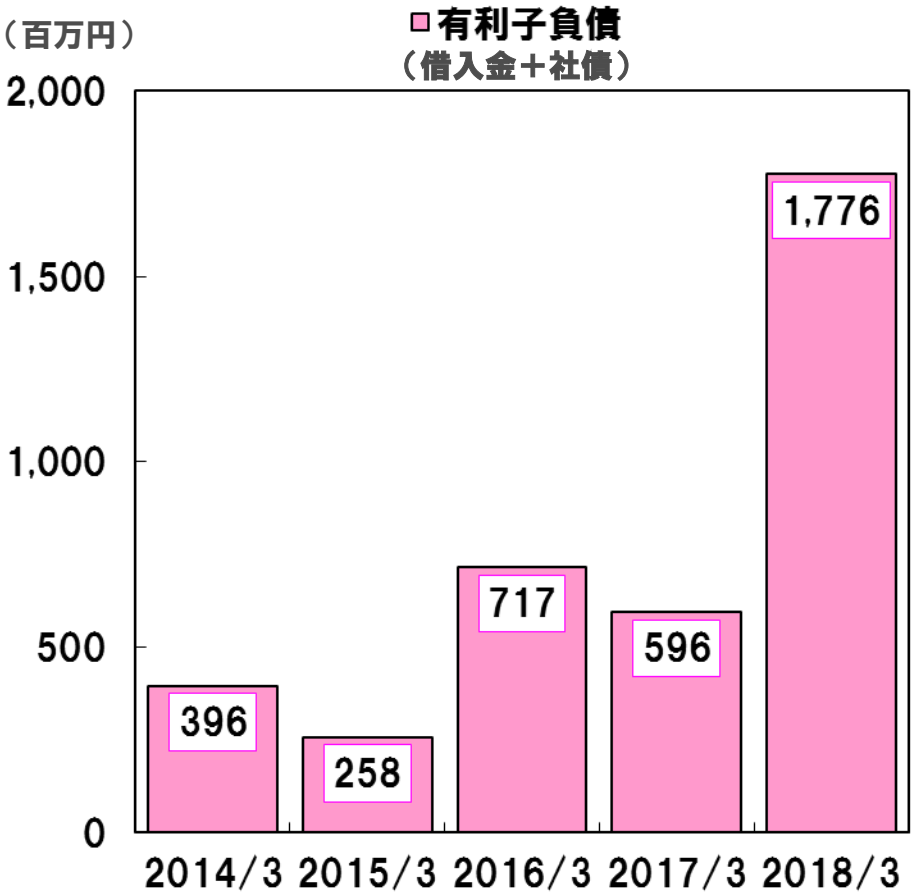


単位：百万円

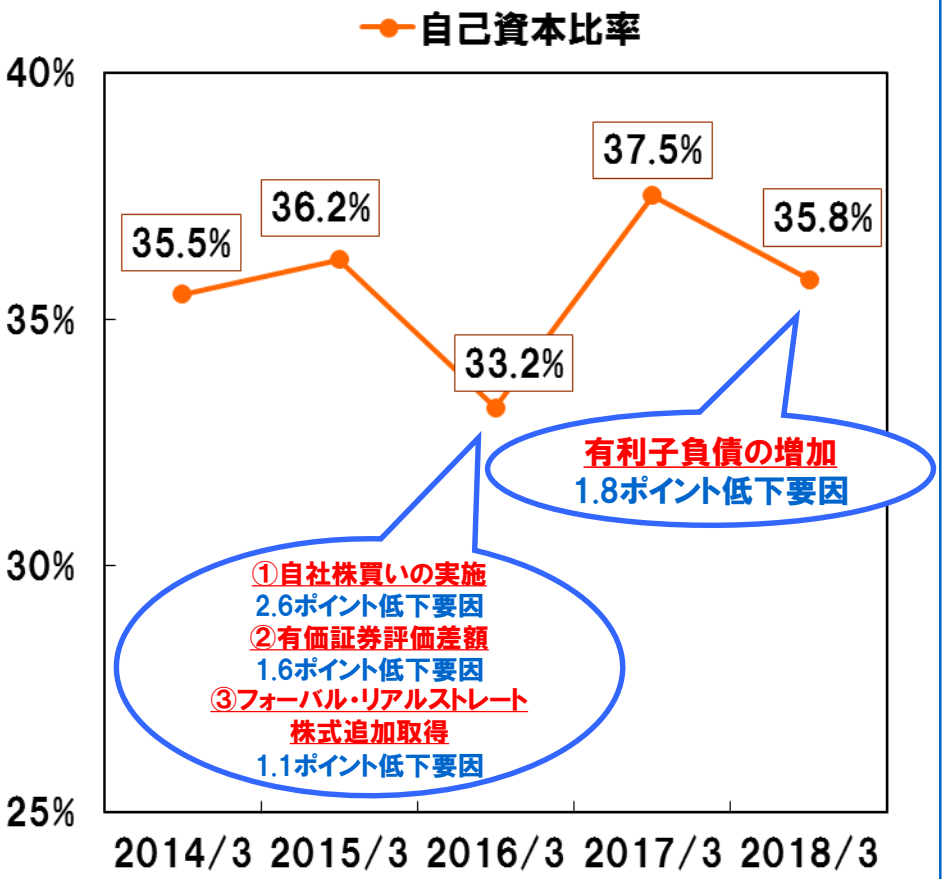
IT教育サービス事業で通信教育関連が好調/IT技術者派遣事業で派遣人員が増加

財政状態

前期比197.7%増

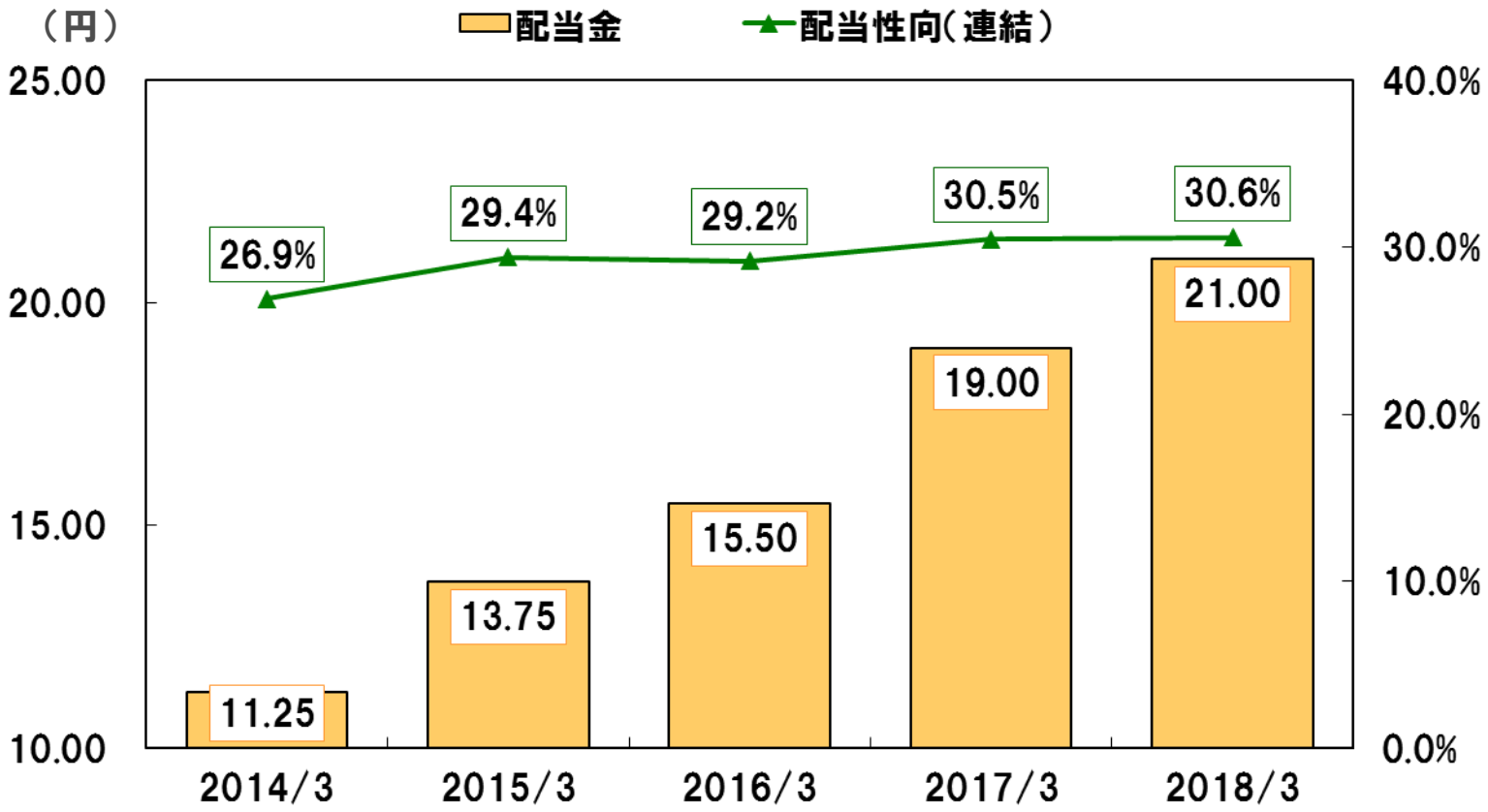


前期比1.7ポイント低下



配当金の推移

実質6期連続増配



2015年9月1日付 株式分割　1株⇒2株

※ 配当金は株式分割後の値に換算

2019/3期連結業績見通し

2019/3期連結業績見通し

	2019/3期予想			2018/3期	
	予想	売上比	前期比	実績	売上比
売上高	53,000	100.0%	1,648 【3.2%】	51,351	100.0%
営業利益	3,000	5.7%	145 【5.1%】	2.854	5.6%
経常利益	3,100	5.8%	139 【4.7%】	2,960	5.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,830	3.5%	86 【4.9%】	1,743	3.4%

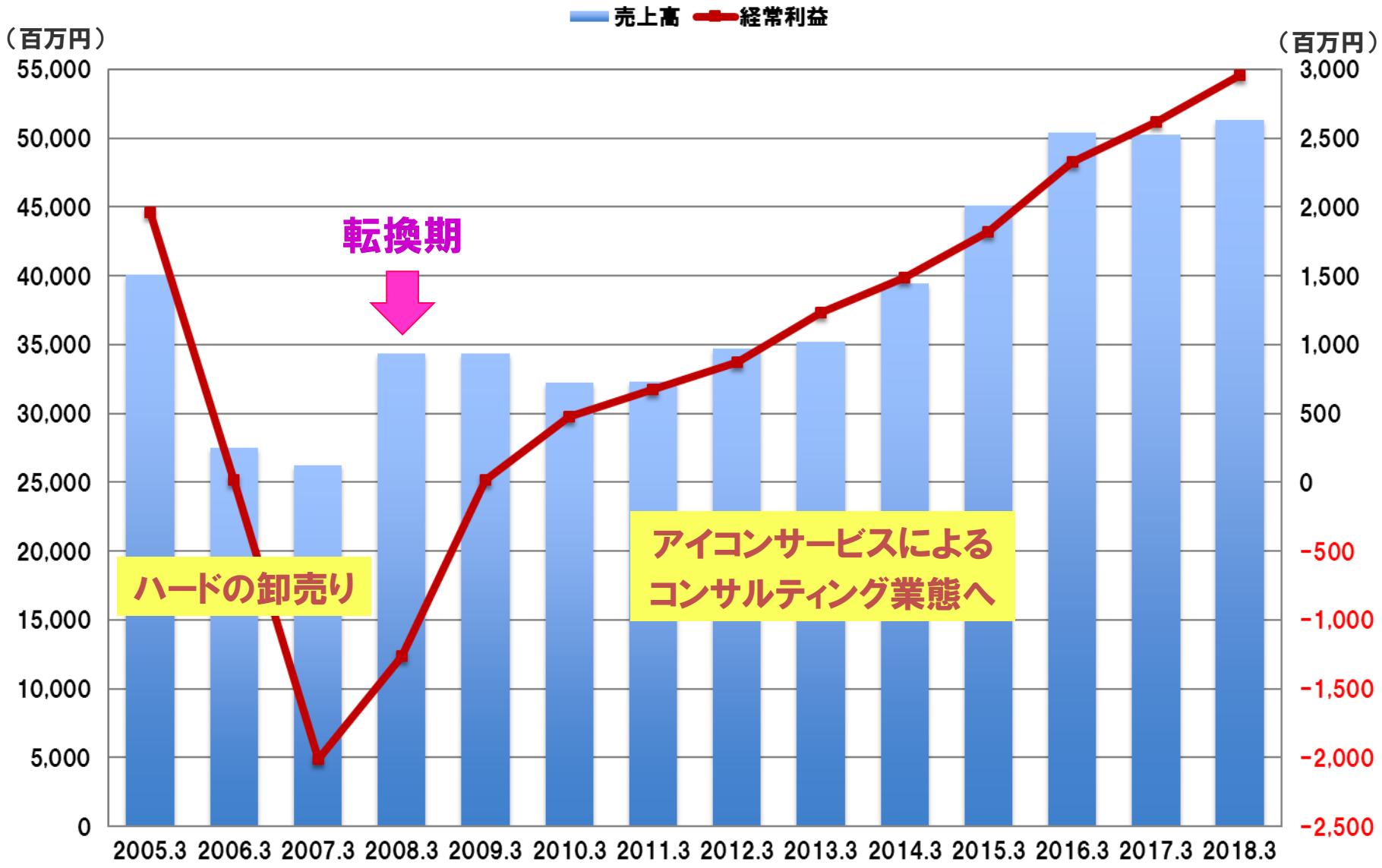
単位：百万円

1株当たり当期純利益	73.00	68.67
配当金	22.00	21.00

単位：円

フォーバルグループの成長戦略

ビジネスモデルの転換前後の業績推移



転換後のフォーバル

企業経営そのものを支援し、

中小・中堅企業の利益に貢献する

「次世代経営コンサルタント」集団

4分野

情報通信分野	海外分野	既存事業
環境分野	人材・教育分野	新規事業

3手法

- 売上拡大
- 業務効率改善
- リスク回避

フォーバルのコアビジネス

次世代経営コンサルティングサービス

中小・中堅企業の利益に貢献する

情報通信分野（国内）

海外分野

フォーバル icon サービス。
icon

海外進出を完全サポート。
グローバル icon サービス。
global icon

アイコンサービス

基本サービス

- ■経営のよろず相談サービス
- ■定期訪問＆通信技術を使った遠隔サポート
- ■パソコン・ネットワーク状態監視サービス
- ■各種アプリケーションの問合せサービス
- ■お客様専用サイト

各種メニュー

- 経営コンサルティング系
- 個人情報管理系
- パソコン・ネットワーク系
- スマートフォン・パッド系
- ホームページ系
- 電話系
- コピー系

アイコンサービスのOEM展開

OEMによるアイコンサービスの拡大と販売チャネルの強化

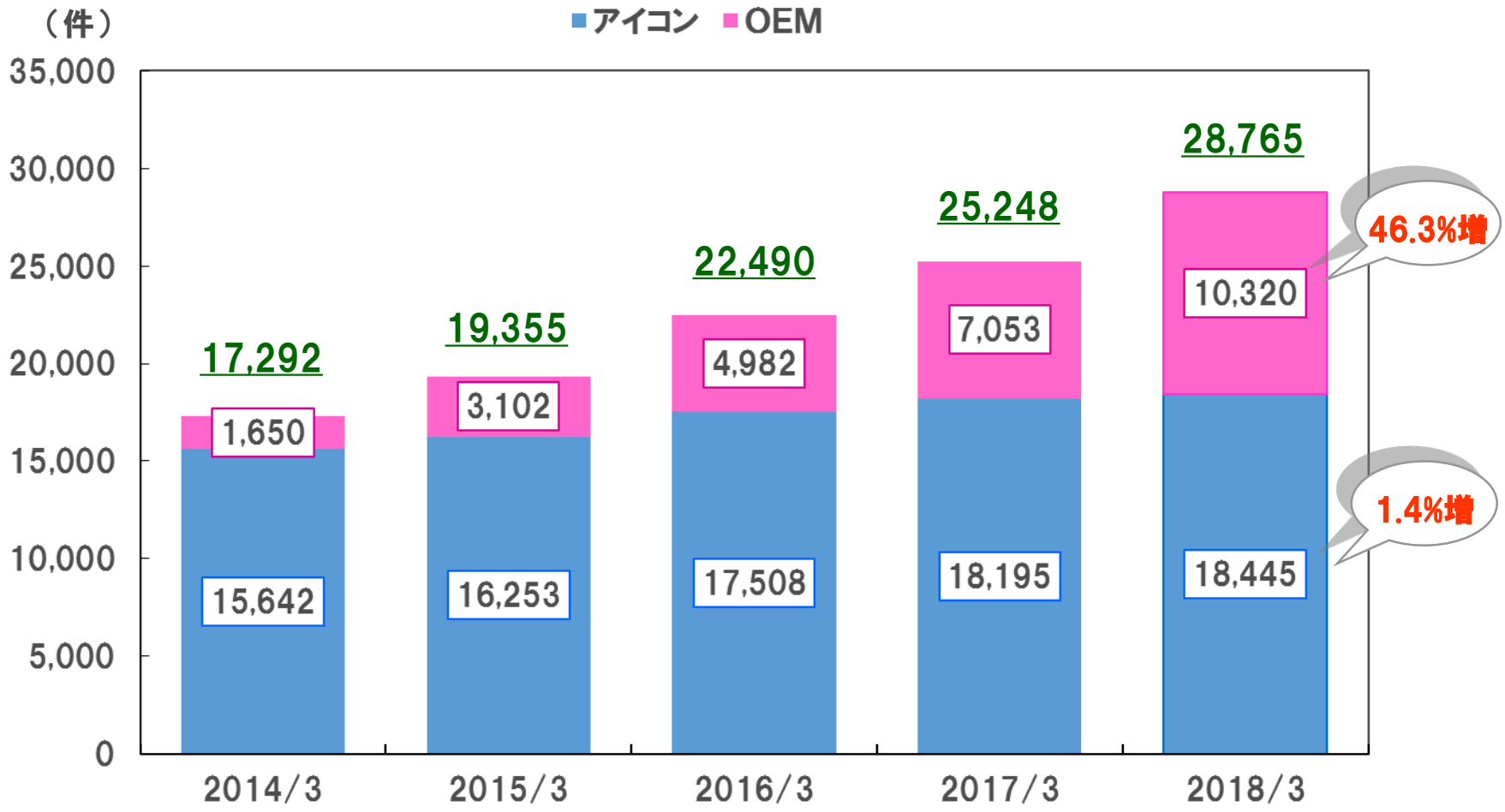
差別化された
新しいビジネスモデルの
ノウハウ自体を提供

→

アイコンサービスの拡大
&
販売チャネルの強化

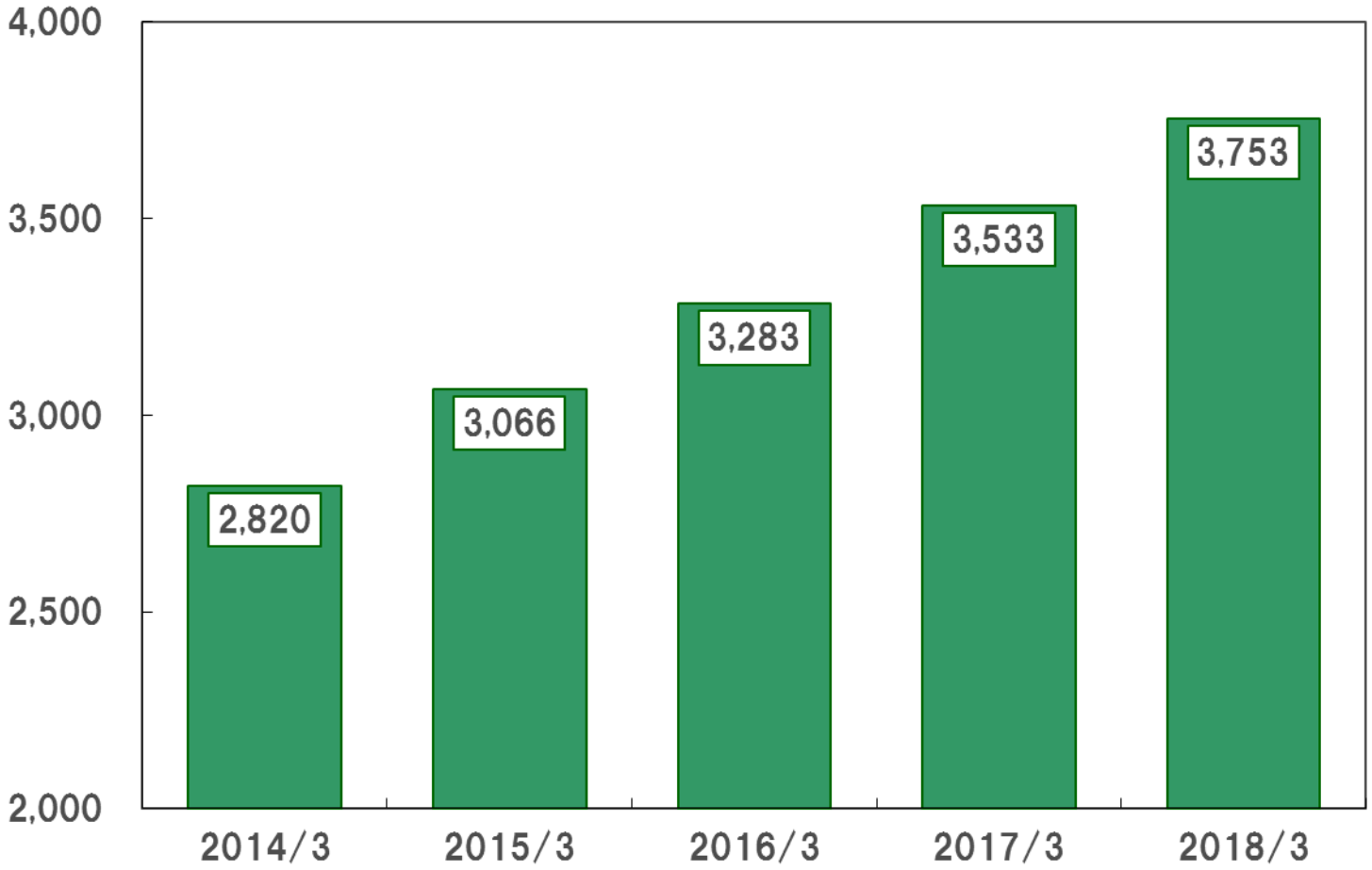
アイコンサービスの推移（件数）

前期比13.9％増と順調に推移



アイコンサービスの推移（売上高）

前期比6.2%増と順調に推移

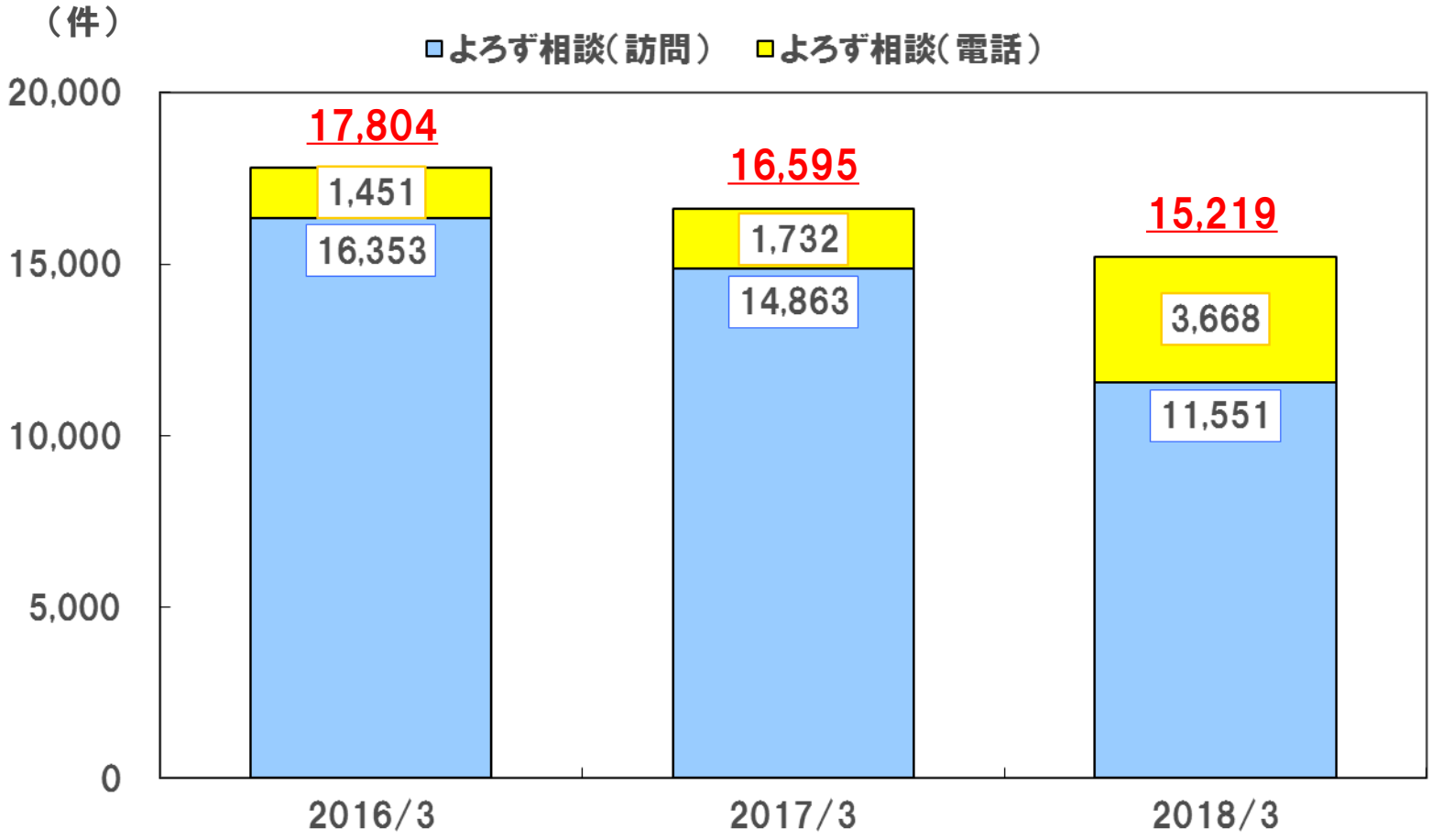


単位：百万円

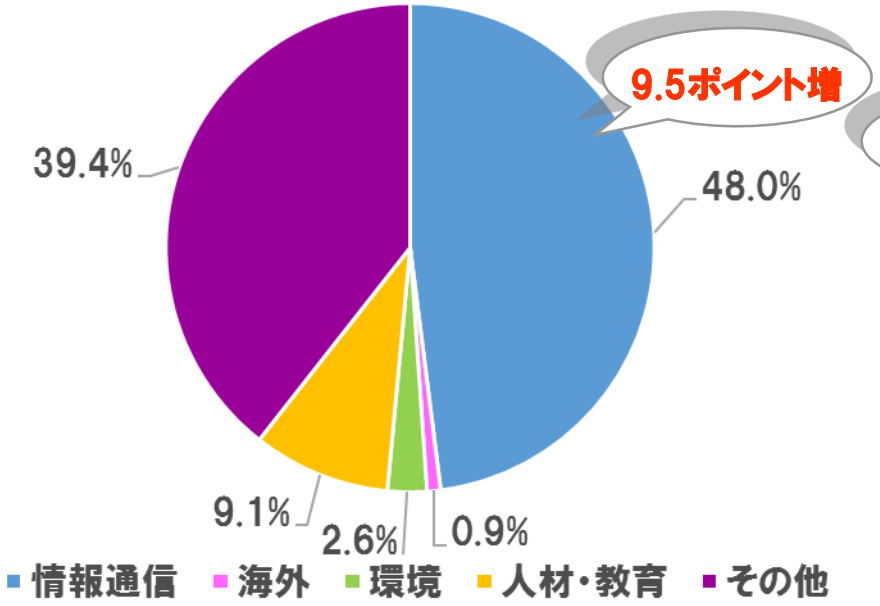
よろず経営相談の推移

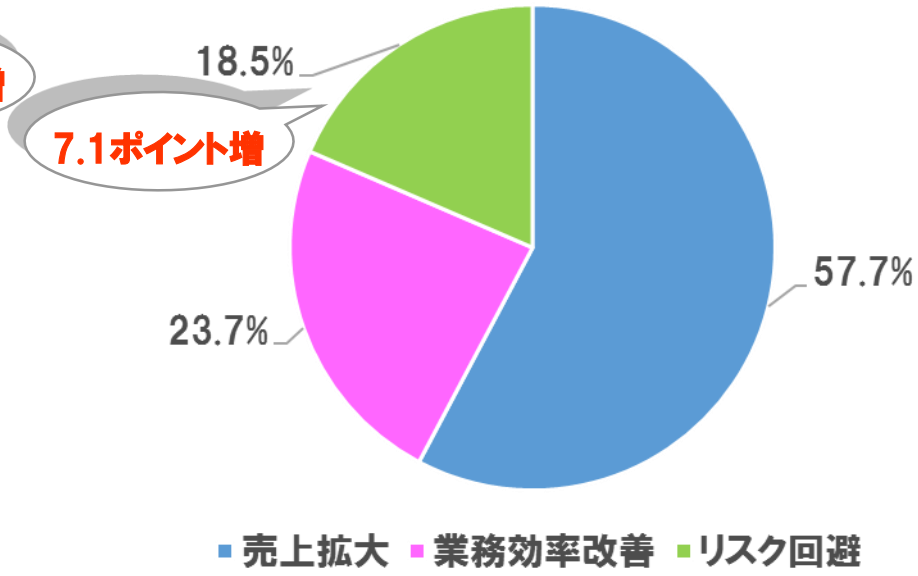
前期から相談の質を追求

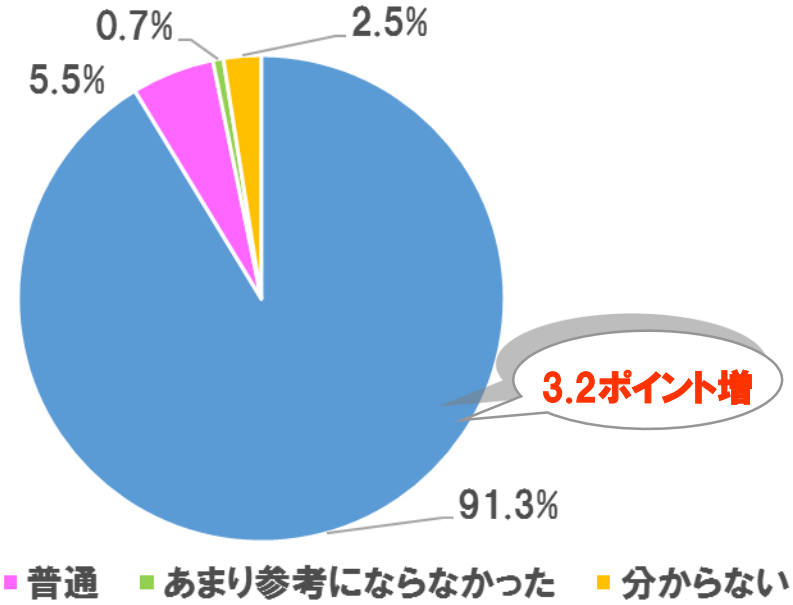
前期比8.3%減



よろず経営相談の相談内容と満足度



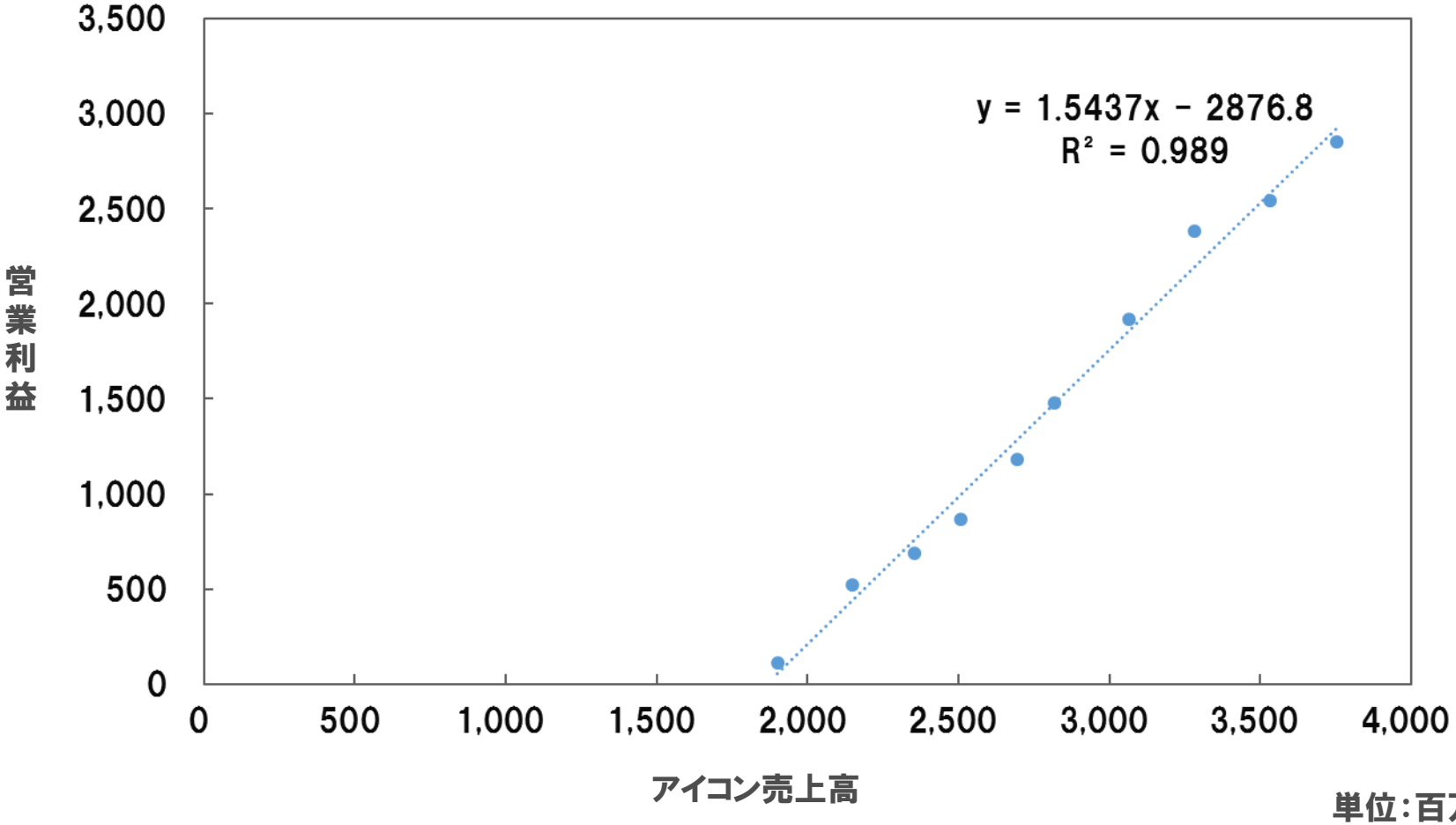




アイコンサービスと営業利益の関係

高い相関関係

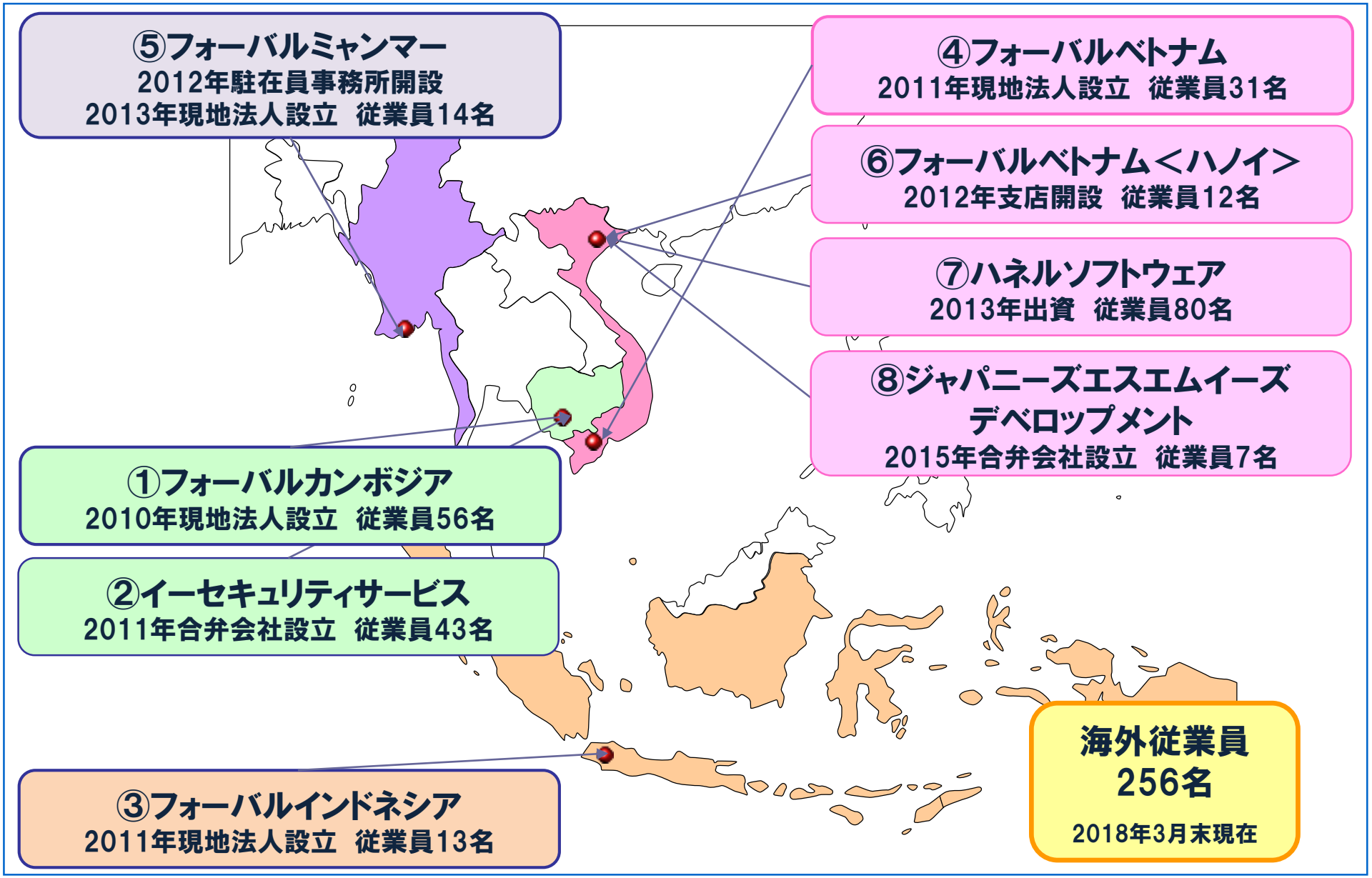
アイコンサービスを始めてからの10年間で見ると、アイコン売上高が1増えると
それ以外のビジネスにも相乗効果が生じ営業利益は約1.5増える傾向にある



単位：百万円

海外事業の取り組みと今後の見通し

ASEAN進出支援体制の確立



グローバルアイコンサービス

トータルサポート

stage
進出後

stage
進出前

OA・NW ITサポート	■OA・NWのIT環境サポート ■アイコンサービス
バックオフィス業務支援	■会社規定・就業規則等作成支援 ■経理・総務等業務支援 ■セールスプロモーション支援
人材支援	■現地スタッフ教育・研修支援 ■現地スタッフ採用支援
現地法人設立支援	■工場用地・オフィス・駐在員住居選定支援 ■法人登記・各種ライセンス申請登録支援 ■内装・什器・OA・NW環境構築支援
海外進出FS支援	■現地視察ツアー同行 ■現地調査・マーケティングリサーチ ■レンタルオフィス提供
情報提供	■セミナー ■紙面＆WEBの活用

グローバルアイコンサービスのメニュー

G-icon B（Before）

1	Type S	進出までの総合準備支援 ワンストップサポートで進出準備を支援
2	Type OS	事業計画の設計、カウンターパートとの交渉、 契約締結までをサポート
3	Type R	総合調査支援 調査計画に基づき専属スタッフが調査支援を実施

G-icon O（Outsource）

1	Type M	生産委託先開拓 豊富な現地ネットワークからパートナー選定を支援
2	Type D	販売パートナー開拓 商品を拡販できるベストパートナー選定を支援
3	Type RP	JICA等公的機関による海外展開支援の公募参加 を目的とした事業可能性調査

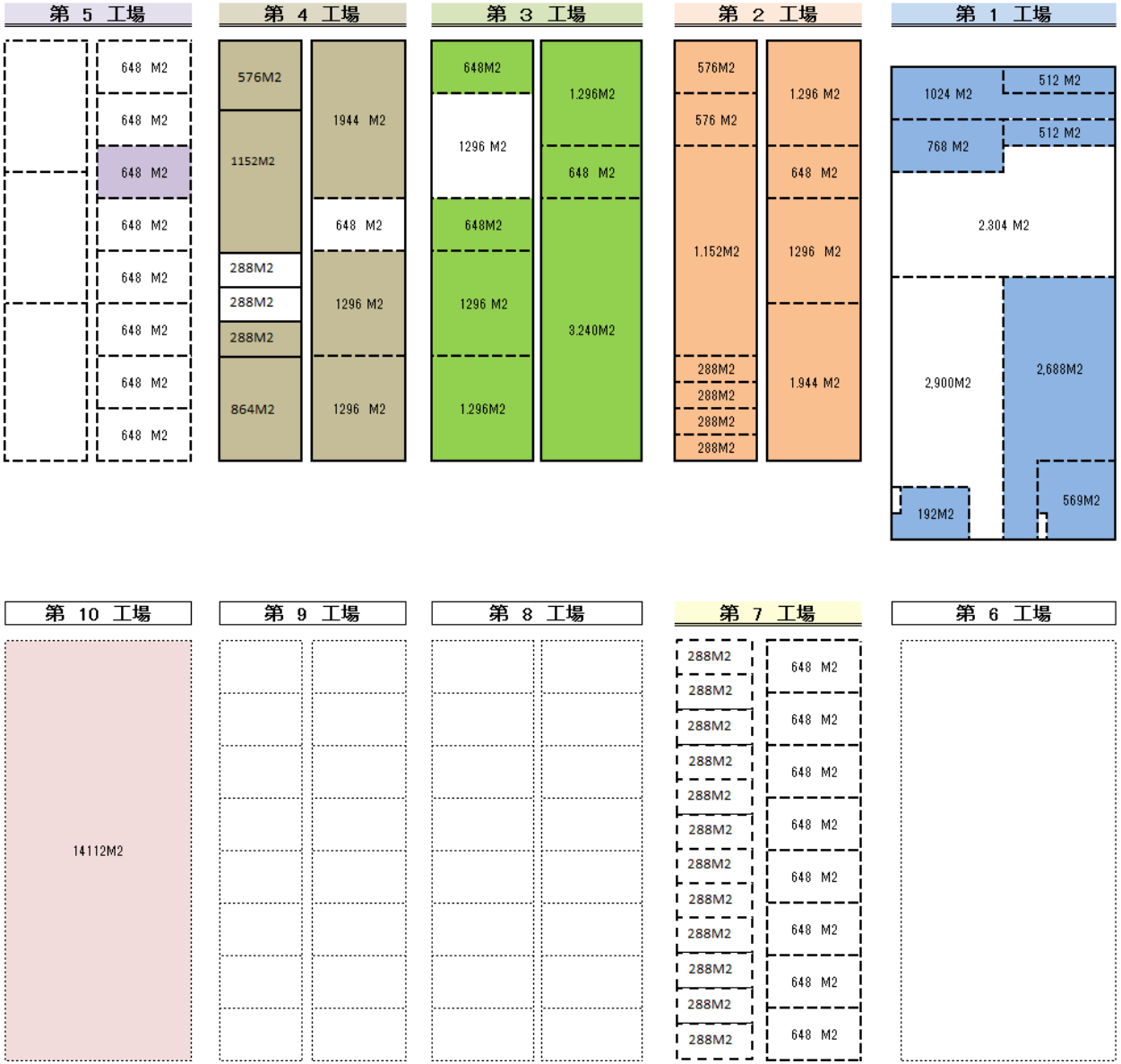
ベトナムのレンタル工場①

ベトナムレンタル工場 初！
JICA（国際協力機構）からの海外投融資を利用した開発

ベトナムのレンタル工場②

第1～第4工場まで建設済み、第10工場まで建設予定！

ベトナムのレンタル工場③



□第10工場は全棟一括借り上げの予約済み
□色付きの区画は契約済み
□第5工場は今月末、第7工場は10月完成予定
□第4工場まで建設済み、第5・第7工場は建設中

ベトナムのレンタル工場④　ジャパンデスク（管理棟）

全景

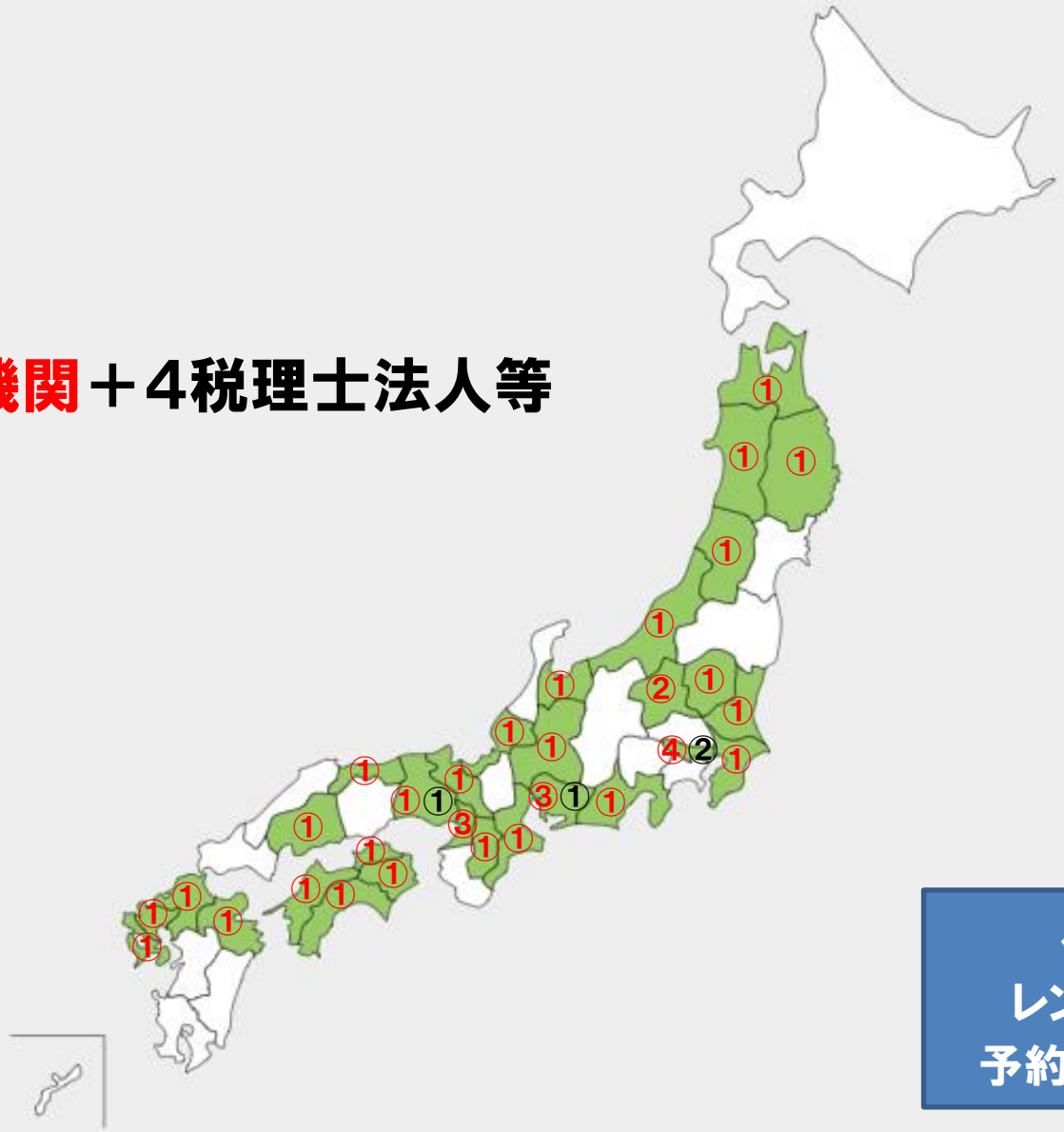
貸会議室

受付

日本料理店

顧客獲得のためのアライアンス戦略

38金融機関＋4税理士法人等



ベトナム
レンタル工場
予約枠100区画

インドネシアのレンタル工場①

※オレンジの区画は契約済み

インドネシアのレンタル工場② 管理棟

【共有施設】
- 日本語対応サポートデスク（常駐）
- 会議室×５
- 応接室×２
- 来賓用お手洗い×２
- 礼拝スペース×２
- 軽食スペース

自治体・官公庁との連携（受託実績）

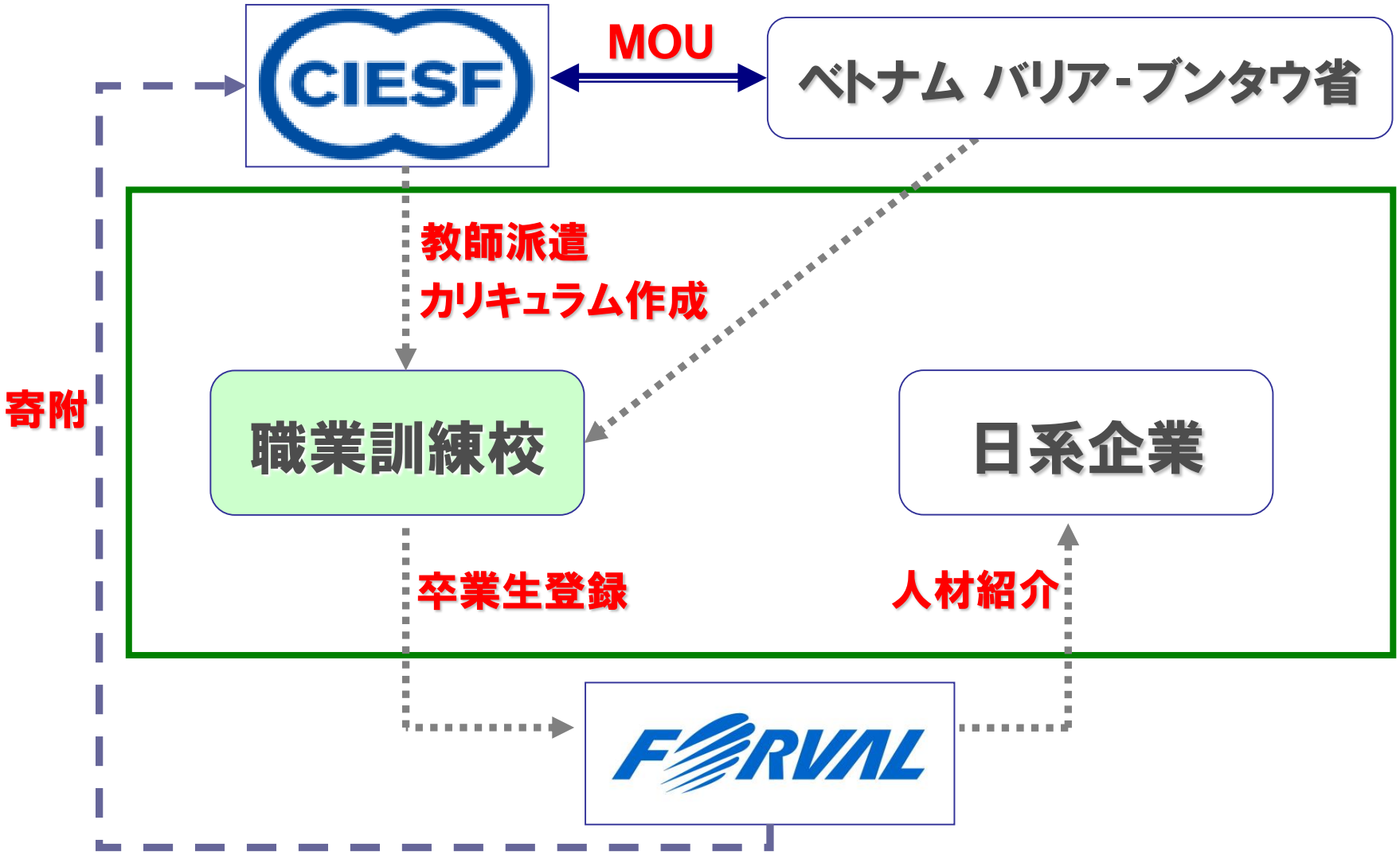
自治体	年度	事業名
茨城県	2017年	ベトナム「県産品販路開拓ステップアップ事業」
東京都	2017年	「アジア特別商談会」における出展企業への商談会企画・運営業務
長崎県	2017年	「東南アジアビジネスサポートデスク運営業務」 2013年～継続
長崎県	2017年	「ベトナムビジネスマッチング事業」
宮城県	2017年	「宮城県ベトナム等ビジネスアドバイザリーデスク運営業務」 2014年～継続
宮城県	2017年	「ハンズオン型ベトナム宮城県産品販路開拓支援事業」
宮城県	2017年	「ベトナム宮城県セミナー開催及び宮城県産品販路開拓支援事業」
宮城県	2017年	東南アジア県産品販路拡大・海外進出可能性調査業務
福井県	2017年	「ふくいバンコクビジネスセンターアドバイザリー業務」 2014年～継続

自治体・官公庁との連携（受託実績）

自治体	年度	事業名
愛媛県	2017年	「愛媛県ものづくり企業海外販路開拓強化事業（インドネシア・ミャンマー）」
八戸市	2017年	「Japan Aomori Food Fair 2018」商談会
神戸市	2017年	「神戸市ベトナム海外商談会マッチング事業」
松原市	2017年	「松原市輸出業務支援事業（商社マッチング事業）」
JICA	2017年	ベトナムにおける日本式介護学校と介護センターの一体運営モデルの案件化調査
JICA	2017年	コンクリート構造物の長寿命化に資するひび割れ・劣化部補修事業に関する基礎調査（ブラジル）
JICA	2017年	ミャンマー繊維産業への近代的染色整理産業技術・日本的経営技術導入に係る普及・実証事業
JICA	2017年	工業用水管理技術普及促進事業（ベトナム）

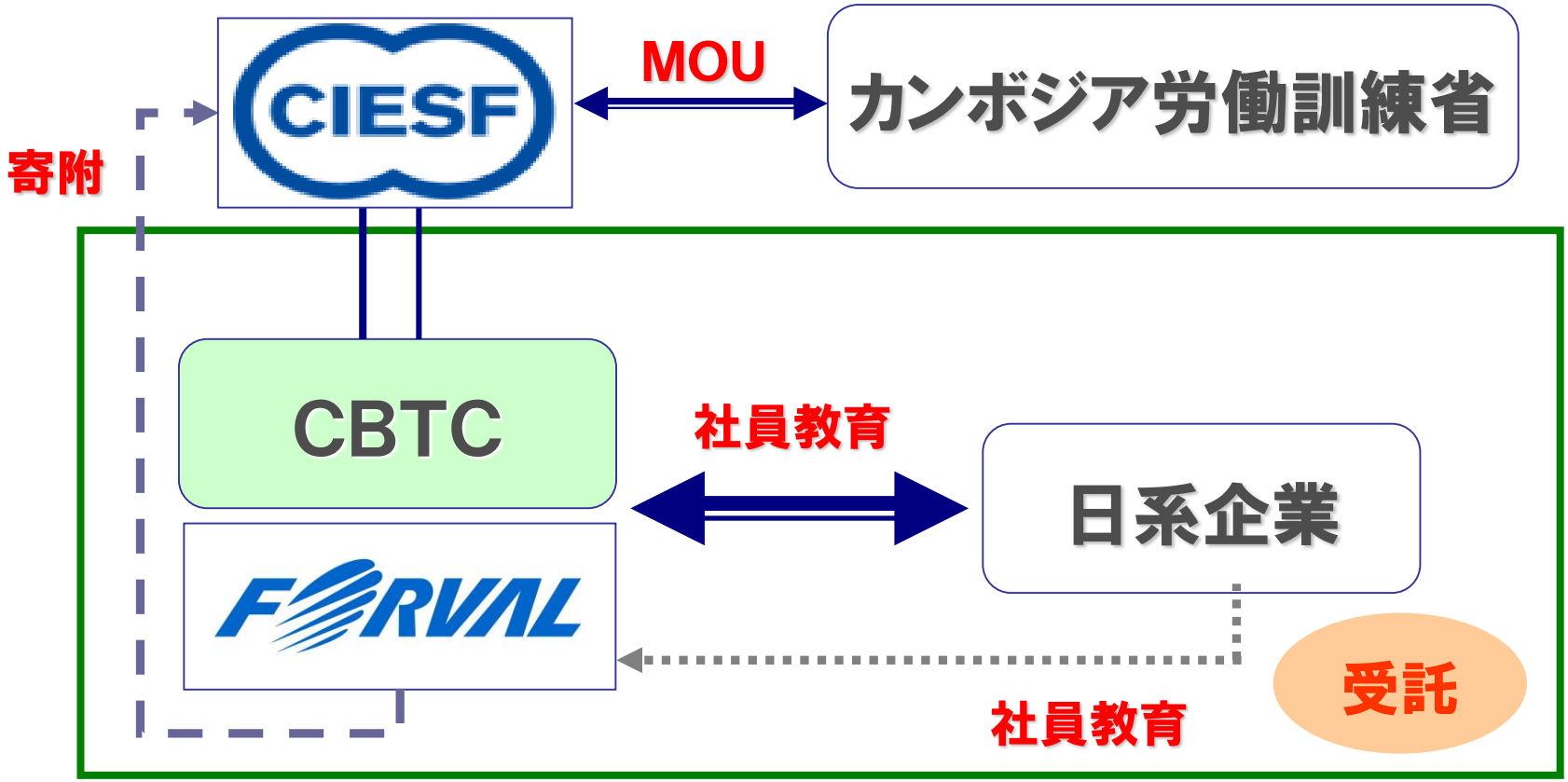
CIESFと連携した人材採用支援

『人材育成による地域社会への貢献』



CIESFと連携した人材開発支援

『日系企業の社員研修の受託』



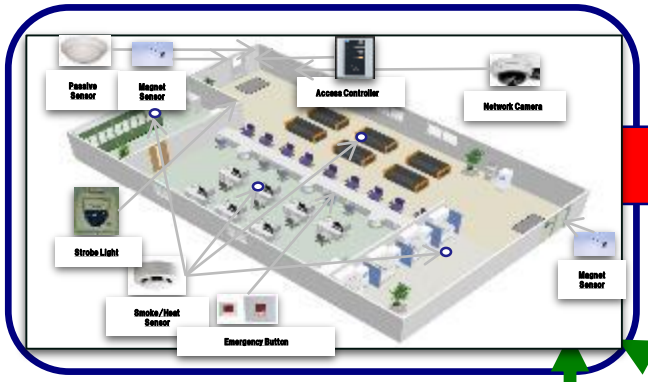
社員研修の実績			
：カンボジア	延べ 165社	延べ1,643名
ベトナム	延べ 151社	延べ2,573名
インドネシア	延べ 439社	延べ1,815名
ミャンマー	延べ 219社	延べ3,196名

合計
延べ974社
延べ9,227名

E SECURITY SERVICIESのセキュリティシステム概要

侵入者

火災



異常信号

中央管制センター

急行部隊

緊急連絡

警察

警察署　警察署　警察署　警察署

カンボジア内務省国家警察本部

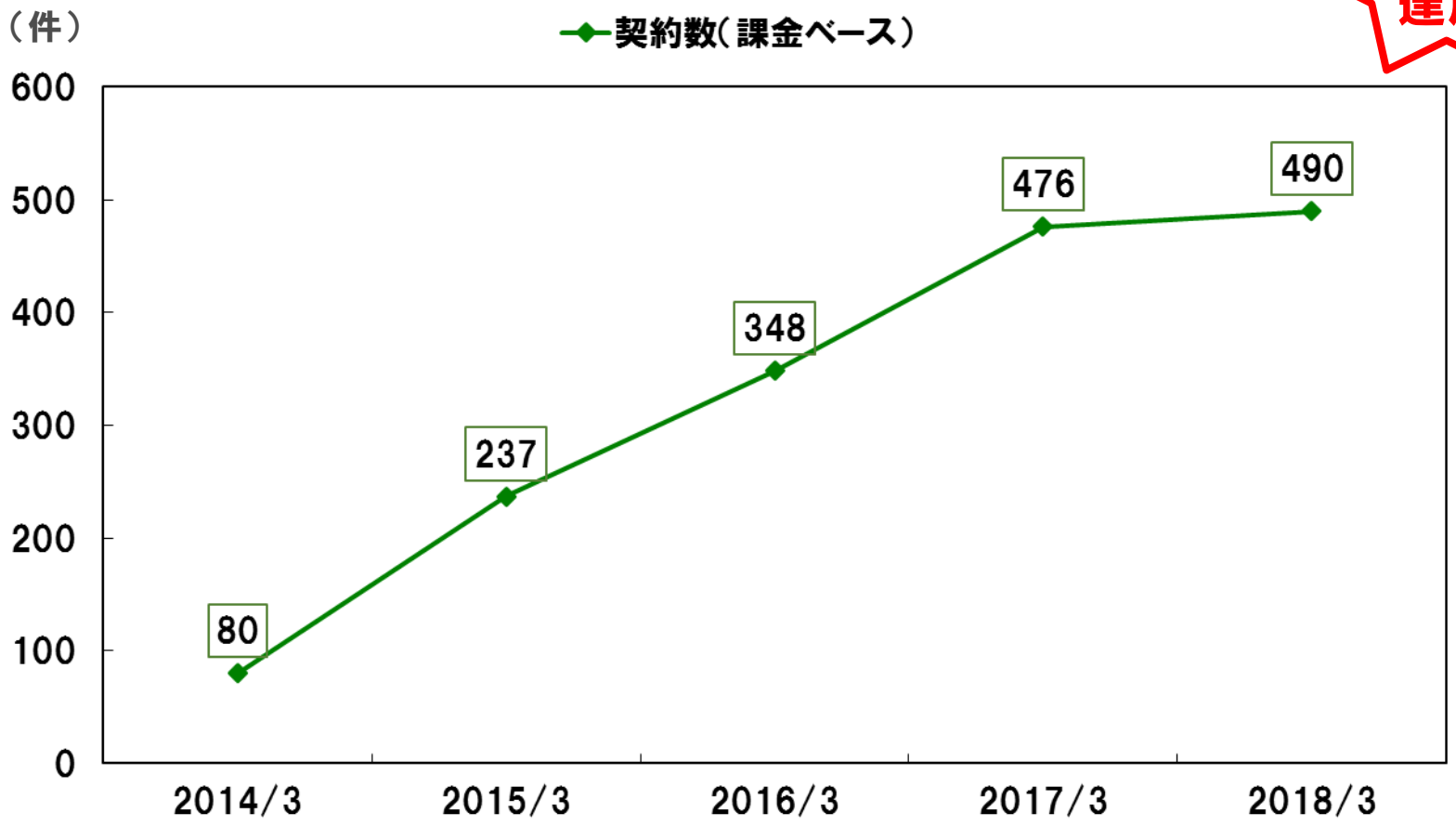
カンボジア内務省
国家警察本部と
10年間のMOU締結

急行部隊

セキュリティサービスの契約数推移

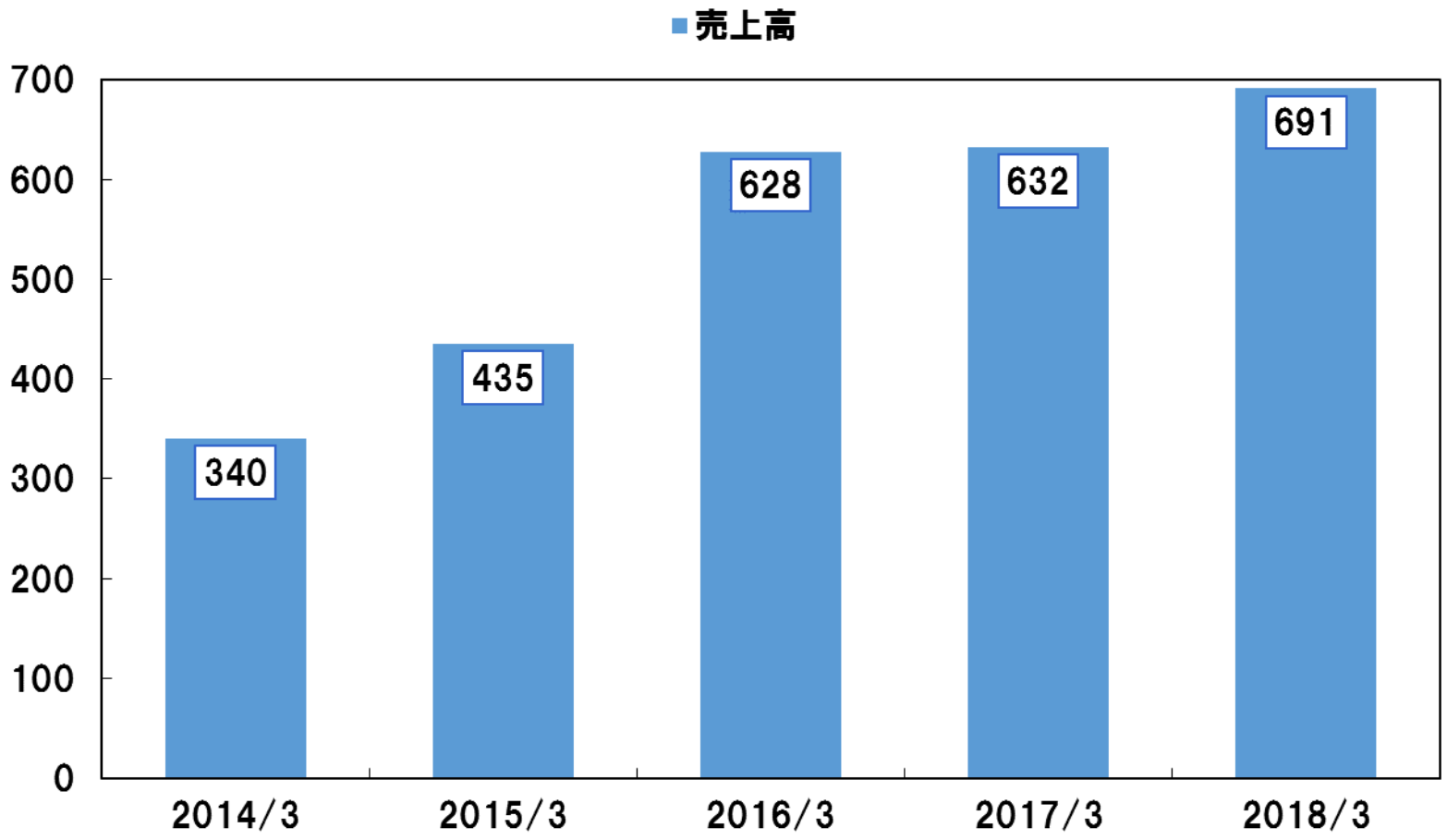
前期比2.9%増

4月
500件
達成



海外事業の売上高推移

前期比9.4%増



※ 海外関連の売上で連結売上高には取り込んでいない数値も含む

単位：百万円

将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提（仮定）等を基礎としています。これらの実現については、様々な要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。